

特集 新しい総合計画がスタートします！

総合計画とは

総合計画は、市民、地域、民間事業者、行政などが連携・協力して実現すべき、まちづくりの目標を示す市の最も重要な計画です。

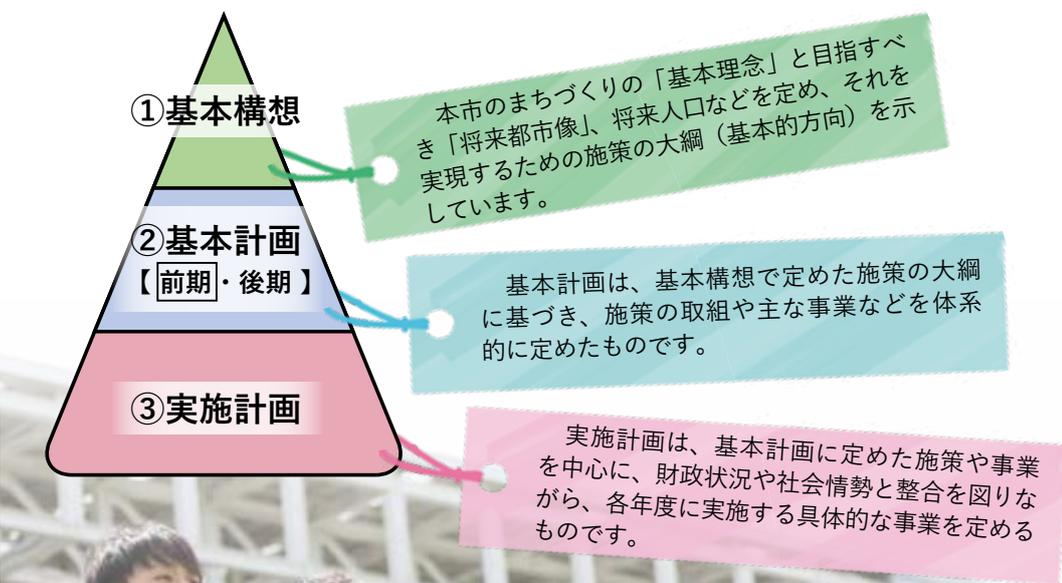
①基本構想、②基本計画、③実施計画の3段階構造で、2022(令和4)年度から2031(令和13)年度までの10年間の計画となります。

今後10年間のまちづくりの方向性を定めた新たな「総合計画」が、令和4年4月から始まりました。今回の特集は、本市のまちづくりにおけるさまざまな課題を克服し、全ての世代の方が生き生きと輝く、安心と期待に満ちたまちづくりを進めるための市政運営の新たな羅針盤となる「日立市総合計画」について、ご紹介いたします。



将来都市像

共創で新たな歴史を刻む 次世代型みらい都市 ひたち
～人づくり・まちづくり・そしてみんなの幸せづくり～



将来都市像

「共創で新たな歴史を刻む
次世代型みらい都市 ひたち」
が表すもの

共創で新たな歴史を刻む

人口減少・少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響など、さまざまな課題に直面する中にも、本市まちづくりの歴史的な気風である市民・企業・行政が共に手を携え、「地域共創」の精神を更に前面に出し、持てる力を十分に発揮し合い、困難を乗り越え、未来を切り拓いていくという強い意志を示しています。

次世代型みらい都市

将来への先行きが見えない時代にあっても、逆境を更なる成長のチャンスと捉え、本市が有する「ものづくり」の知恵や技術、地域の力など、「まちの資産」を最大限にいかしながら、社会情勢の変化や新たなニーズに対応し、新たなまちの価値を創造していくことで、力強く生き抜いていきます。そうすることにより、市民サービスや都市機能などが格段に進歩した状態である次世代型の一歩進んだ「みらい都市」を築き、本市の新たな歴史の1ページを紡いでいくことを目指すものです。

まちづくりの基本理念

本市では、「暮らし」、「まちの活力（仕事や産業など）」、「地域力（ひたちらしさ）」、それらを形作る「人」に視点を置きながら、まちづくりを進めてきました。

これらの視点は、まちづくりの根幹を成すもので、時代を経ても変わらない、まちづくりの普遍的な理念であると言えます。

本計画では、新型コロナウイルス感染症の影響などにより社会経済情勢の不確実性が高まる中、また、市民のライフスタイルや価値観の多様化に伴い、人と人、人と地域の関係性の希薄化が叫ばれる中にあっても、全ての人が、共助の精神を持って、安心して生き生きと暮らせるまちの実現を目指し、3つの理念を設定します。



安心とやさしさにあふれるまち

市民一人一人が、思いやりを持ち、互いに寄り添い、安全に、そして安心して快適に暮らせるよう、人にやさしく、豊かな包容力で包み込み、住みたい人を受け入れ、誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

活力とチャレンジにあふれるまち

積極的に新たな産業の振興やにぎわいの創出に取り組むことにより、まちの活力を育み、誰もが生きがいを持ち、生涯にわたって、あらゆることにチャレンジし続けることができるまちづくりを進めます。

「ひたちらしさ」があふれるまち

本市が有する他にはない恵まれた「強み」をいかし、「ひたちらしさ」を磨き育み、新たな価値を生み出しながら、ふるさと「ひたち」を誇りに思えるよう、総合力を備えた唯一無二のまちづくりを進めます。

策定委員会からの答申



「日立市総合計画」の策定にあたり、学識経験者やコミュニティ、各種団体の代表者、学生など、28人で構成する策定委員会を設置して審議を進めました。2月24日には、前期基本計画の答申案がまとまり、小川市長への前期基本計画の答申が行われました。上野尚美委員長は、「広く市民の意見を取り入れた基本計画ができました。市の発展の礎となり、市民から親しまれる計画として、目指すべき将来都市像の実現を願っています」と述べ、小川市長に答申書を手渡しました。小川市長は、「皆さんのふるさと日立への熱い思いを強く感じました。計画に定めた事業を着実に前進させていきたいです」と策定に関わった委員に感謝を述べました。

未来を担うアクティブ・パーソンズ戦略

「未来」を創るため、人口減少対策を更に拡充しながら、子どもから高齢者までの「担う人財」が安全に、安心して活躍できる取組を進めます。

PLAN 01
住・定住支援
少対策・定住促進》



PLAN 02
若者・女性の活躍
《若者・女性》



PLAN 04
子どもにやさしいまちづくり
《子育て・子ども支援》



PLAN 05
教育は日立市で
《教育の充実》





若年世帯
の増加
と生活
の良好



社会活動を支えていく「ア
クティブ・シニア」の増加



子育て世代が「教育は日立
市で」と思える質の高い
教育の実現

目指す姿

ひたち 成長戦略 プラン

新型コロナウイルス感染症の影響や今後も進行が見込まれる人口減少・少子高齢化など、本市を取り巻く環境は、年々、多様化・複雑化していることから、「大綱・施策」という行政分野の垣根を越えて、分野横断的に対応していかなければならない課題が顕在化しています。

前期基本計画においては、「大綱・施策」による縦割りのアプローチでは解決が難しい課題について、全庁を挙げて分野横断的に解決すべき取組として「ひたち成長戦略プラン」に位置付け、施策・事業を戦略的に推進していきます。

③ 地域が抱える課題の把握

市内全てのコミュニティを訪問し、地域住民の方から地域の課題やまちづくりについて、ご意見をいただきました。



④ 若い世代の意見を反映

市内に所在する2つの大学に通う学生に対するインタビューを実施するとともに、子育て世代に対するアンケート調査を実施しました。



産業強化
プロジェクト

次代の産業をリードするイノベーション・シティ戦略

産業の創出力を高めるため、これまで培ってきた産業・技術集積などの強みをいかしながら、常に新たな領域に挑戦し続けるとともに、「働く意欲」を持つ多様な人材が活躍できる社会をつくります。

PLAN 06
新しい産業の創出
《稼ぐ力の向上》



PLAN 07
産業の多角化・人材確保
《強靱な産業構造の形成》



PLAN 08
魅力的な雇用・就業支援
《雇用対策・事業承継》



人財充実
プロジェクト

まちの

「持続可能なまちの未
全ての「まちの未来を

移
《人口減



PLAN 03
幸齢社会の形成
《2025 年問題》



子育て世帯などの若
が転入、定住しやす
な住環境の形成



本市の強みをいかした企業誘致や新たな産業の進展



中小企業のデジタル化による事業の多角化



若者や女性の就業ニーズの高い雇用の創出

目指す姿

計画策定に当たり、たくさんの方からご意見をいただきました！

① 策定委員会（諮問機関）の開催

学識経験者や各種団体の代表者などで構成された策定委員会において、計画策定に必要な審議を行いました。



② 各種アンケート調査の実施

市報や市ホームページ、インターネットモニター制度などを活用したアンケート調査を始め、パブリックコメントや市民 3,000 人を対象としたニーズ調査などを行いました。



将来にわたり、豊かな暮らしと活力が持続する未来を創るため、市民・行政・企業が一体となって脱炭素化に取り組むとともに、AI や ICT といった技術の革新的な進歩を積極的にいかすことで、環境と調和した効率的な暮らし・持続可能な都市の実現を目指します。

PLAN 09

未来型環境先進都市の推進
《脱炭素社会の形成》



PLAN 10

ひたち型スマートライフの構築
《デジタル化の推進》



PLAN 11

コンパクト・プラス・ネットワークの推進
《機能的なまちの形成》



再生可能エネルギーの導入
促進、市民の環境保全に対
する意識の醸成



各種のオンライン
業務の拡大



介護ロボット（装
着型）の導入によ
る介護負担軽減



にぎわう街なか



新モビリティの実用化

目指す姿

現在、人口減少・少子高齢化をはじめ、激甚化・頻発化する自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響など、さまざまな課題に直面しています。本市は100年を超える歴史を有する「ものづくりのまち」として、世界に誇る知恵や技術、地域の力をはじめ、海や山などの豊かな自然や独自の文化など、先人たちのためめめめ努力などによって培ってきた本市固有の「ひたちらしさ」という、素晴らしい地域資源があります。

これまで本市は、この「ひたちらしさ」を原動力に、煙害の克服をはじめ、戦災や東日本大震災からの復興など、幾多の逆境を乗り越えてきたことから、現在直面している課題を更なる成長のチャンスに変えるポテンシャルがあります。

全ての世代が幸せを実感
できるまちの実現に向けて



魅力・地域力強化プロジェクト

リスクをチャンスに変えるリカバリー戦略

自助・共助・公助による支え合いの仕組みづくりや各種の防災施設の整備などによる、ソフト・ハード両面にわたる安全・安心なまちづくりを通して、都市全体としてリスクへの対応力を高めます。

PLAN 12

共助の力と安全・安心力のパワーアップ
《コミュニティ・地域力の拡充》



PLAN 13

ひたちらしさのプロモーション
《ひたちらしさの掘り起こし・磨き上げ》



PLAN 14

スポーツ・文化を活用したまちづくり
《スポーツ・文化の振興》



PLAN 15

しなやかな新しい生活様式の普及
《新しい感染症の克服》



福祉、防災・防犯、環境などの分野で全世代が活躍しているコミュニティ



自助・共助・公助の連携による災害への確実な備え



本市の観光資源や暮らしの魅力の発信による本市を訪れる人や移住する人の増加



デジタル化の進展により、全ての市民がその恩恵を享受



ニューノーマル（新しい日常）の定着

目指す姿

市 HP



問合せ

政策企画課
☎内線 349

総合計画は、市の HP に掲載しているほか、市役所、各支所・図書館などで閲覧することができます。

また、パンフレットを6月5日号市報と合わせて配布します。



この「ひたちらしさ」を最大限にいかしながら、まちの発展を支える「人財」の育成に注力し、市民・企業の皆様と連携・協働するとともに、より多角的な視点を持って総合計画の推進を図り、誰もが幸せを実感できるまちの実現を目指してまいります。